

風光



拡大は組合発展の基

4/8(木)19時、労働会館本館第4・5会議室で、「語り合おう 仕事の喜びと悩み」と題して、支部交流会主催の地本全体での『地域分会』に取り組みます。

ひとりぼっちの労働者をなくそう!!

地本には、現在7つの地域支部があります。福祉保育労は一人でも入れる労働組合なので、個人加盟の人は、該当地域支部に属してもらい、日頃の悩みの解決や職場改善などに取り組めるようにしています。

支部だけでなく、保育・障害・高齢といった種別や、青年部・臨パ部会などに結集して活動を支え合っています。

また、地域の労働者とともに市民の要求実現にも取り組んでいくことも「労働組合」として重要なことだと押さえています。

支部交流会では、「支部の役



労働組合が大きくなれば、その分国を動かす力も大きくなる!
 (3、1中央行動より)

地本では「地域に責任を持つ」労働組合としての活動作りを模索中です。そこで、今回悩める支部みんなを集まり、地本で一斉に『地域分会』を行うことにしました。

この言葉を、地域で悩んでいる1人でも多くの労働者に届けたい。また、仲間を増やし組織を強く大きくすることで、私たち自身の要求を前進させる力も大きくなります。

この春闘期で仲間増やし、支部・分会からも、未組織の仲間を誘って参加してください。

そして、全国障害学習交流集会(6/19・20)に向けての未組織訪問や、全国の仲間とともに行なう「組織拡大キャンペーン」エントリーで、グリフェス(5/8)を山場にした組織拡大大元気に進んでいきましょう。750人地本はあなたの力で実現だ!

割って何だろう」「地域でひとりぼっちの労働者をなくそう」「一人加盟・少数分会の仲間の居場所になる『地域分会』を支部の活動にしっかり位置づけよう」と悩みも出しながら話し合ってきています。

名南や尾張支部では『地域分会』を開き、少数・点在の仲間と労働実態の交流をしたり、支部大会に参加してもらって日頃の様子を伝えてもらうなどしてきました。

地域に責任を持つ組合

ついでのはなしを聞いた後、支部ごとに別れて、少数・点在の組合員の人の日頃の悩みや、悩みみだけでなく仕事の喜びもいっぱい語り合います。

支部交流会では、「それならば未組織の人たちにも来てもらおう!」「組合活動を知る学習は、それこそ遠く離れた岐阜の地で、職場の中では1人でも『組合』に依拠して活動している土田さんの話を聞いてもらったらどうか?」というように企画が楽しく広がってきました。

仲間がいるってうれしいね

あたたかな風が吹いて、もう春ですね。春といえは出会いの季節でもあります。同時に別れの季節でもあります。年長さんの卒園式は、毎年このころから感動し、子どもたちのこんな素敵な表情に会えるなんて、保育士になつて本当によかった!と思える瞬間です。今年の卒園式もきっと涙があふれることでしょう。しかし、私が担任している0歳児クラスの子も二人、この春、違う園に転園することになり退園が決まっています。

退園のことを聞いた時は、本当に寂しい思いをしました。退園までの残りの期間を悔いのないようにならねばならないと、切つたつもりでいました。

しかし、春の足音が聞こえるにつれ、やはり寂しい…。出会いに別れはつきものですが、もつと一緒に過ごしたかったと思う今日この頃です。

退園までに、私の名前を呼んでもらいたいという私の夢も儚く消えそうです(笑)。出会いあり、別れありの保育士という仕事ですが、子どもも保護者の方とも「一期一会」という言葉を胸にいい関係を築いていけたらいいなと思います。話は変わりますが、先日、知人の結婚式に出席しました。結婚式の結核式に出席しました。結婚式の顔を見てみると、結婚していいなと思ってしまう。

知人というのは、大学の友達で、久しぶりに懐かしい友達に会い、昔話に花が咲きました。お互い歳をとったねと笑いながら、その中に入れば、昔の学生時代の自分に戻った気がして、とても不思議な感覚を覚えました。友達は一生の宝です。これからも、友達を大切にしていきたいなと思いました。

春は年度末だったり、新しいクラスのスタートだったり、とても大変だと思えますが、みんなで大変だし頑張りましょう。(ジョーカー)

風の音

10年1月23日 労働会館本館にて、第17回「地本委員会」が開催されました。

多くの地本委員およびオプザーバーが参加され、スト権管理委員会からの特別発言も含め、合計16本もの発言があり、時間が足りなくなるほどでした。

その発言の内容をまとめてお伝えします。(以下敬称略)

・のぎく分会 祐野、林

祐野：スト



権の話をして4回分会で話してきました。ストが「やれる、やれない」から始まった。そして、全体での話を聞いて学ぶことができた。民調を自分の言葉で語れるか。この制度が子どもたちを守ることにすると、地域をとつながらりを持って進めたい。父母にもどう伝えたらいいかと意見がいろいろ出た。

林：障害施設にオルグに入り、保育職場との運動に対する温度差があった。過去に自立支援法の時はどうだったかという振り返りもできた。ストライキはすることが目的でなく、要求を勝ち取るための労働者の権利。だからこそ、障害・高齢・保育と種別を超えて、産別で結集し、回結していきたい。

・名市大どんぐり 加藤、宮地、榎本



07年5月から問題になっていた、学内保育所を「緑の丘福祉会」が受託運営していくことになった。たくさんの方に助けてもらった。周りをつなげてきたからやってこれた。親と一緒に運動に取り組み、病院への働きかけもしてもらった。大学側からそんなに扱われ、交渉の中で悔しい思いもしてきた。自分たちが大切にしてきた保育がむげにされると、心が折れそうになった。でも、頑張った。これからは、多くの人に寄り添ってもらっていたらいい。ということが実感できたから。宣伝行動などいろいろ支えてもらった。これから、緑市民や城西・城北の問題がある。東市民や名大は条件切り下げられたところで行っている。これからも協力をお願いします。

・ゆたか支部 菅本



障害者自立支援法が応益負担から応能負担になる。大臣が反省の意を表すのは

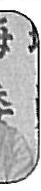
地本委員会発言集

歴史的にみてもすごいこと。しかし、まだ財政上の問題点は多い。労働条件は悪い。ゆたかも低い現状にある。自分たちの要求活動こそ組合の原点。今こそ運動していく。数年にわたる要求・団交で条件を改善してきた。一時金2、6カ月から3カ月に。処遇改善交付金で一時金のない職員にも2、9カ月出すようになった。3000円のペアと非正規の昇給表の作成。給与表の上限22万を改善。中途採用の前歴加算、定年を65から70に、などなど組合が長年にわたり主張してきたことが4月から実現する。これから、新しい仲間も迎え入れていきたい。

・みなと福祉会 河辺

冬一時金過去最高額、去年と違うという実感が若い子の中にあり、自分のやってきたことが結果につながることがうれしい。前歴加算もつくようになった。パートさんにも一時金がつき「やりがいを感じる」。

例年3



月に出す要求書を今年2月に出し、全分会員が主体的になれるように。スト権学習のオルグは新鮮で良かった。9月にやった

福祉介護職場を知ろうみたいにもっといろいろな職場の人と交流がしたい。

・めばえ分会 吉田



やっと4W 7Hが施行され、理事会と懇談・団交を重ねる中で、夏季休暇を7

日から5日に、という削減の提案が出されてきた。組合としては「それは別話」。懇談の中で親の労働条件が悪くなってきたという実態からや、就業規則にも載っていないので、夏季休暇を「臨時休暇」とできないか、と提案される。しかし、これまで積み上げてきた保育の質はどうなるのか？親の労働条件・公立との違いなどある。団交をせざるを得ない。各分会から知恵を借りたい。

・社会館分会 久納



春闘要求から時間はたってしまったが、2回3回と団交を重ねて、12月に妥結することができた。アレルギー対応の調理員の加配を勝ち取り、ティサービスの祝日手当を訴える中で、労働実態が明らかになり、「働きすぎ」の実態が経営者側にも伝わった。団交を通して、粘り強くやって

いかないと自分達も流されてしまう。積み上げながら、闘う事が回結の要。今年度は早く要求書を提出する。

・そよ風分会 澤



団交を行い、一時金UP、時短で4W7H、インフル予防接種補助などについて頑張って要求していく。「実現させる会」の活動で、昨年整形のドクターがいなくなり、療育センターで訓練などができなくなった。市に対して、ドクターの処遇改善の申し立てをして、署名行動・議員回りなどもしてきた。その署名が11月議会にて採択された。これから、名古屋市の東部地域の療育センター実現をめざす。

・ぐみの木分会 清水



昨年9月に鈴鹿市と交渉を行い、給食室のアレルギー対応の補助金を勝ち取った。交渉では、他の地域の資料も出しながら、訴えてきた。保育の専門性を高めるための研修費用、園児数に合わせた費用が支給され、園側にも申し入れて1万円UPも勝ち取った。

ぐみの木では、正規非正規の

区別が無い。みんな同じ保育をする仲間。パートなどは本人の希望。財源が無く、運営費も減ってきていて厳しい。ボーナスも減った。職員が増えることで仲間が増えるのは嬉しいが、このままで大丈夫か不安。

・緑市民ぽんぽこ 岩崎 ぼんぽこの



園庭削減問題。汐見が丘保育園の廃止民営化に伴う移転と病院局の経営赤字の問題で、事前に相談も無く、園庭を子ども青少年局に売っ

てしまった。一方的に園庭を取り上げるとは子ども権利を剥奪することだと、強い憤りを感じる。

病院局は話し合いの中で、対応をはぐらかしたり、ついには「局の土地だからどう使おうが局の勝手」など、不誠実な発言もあった。何としても園庭を取り戻して、子どもたちのびのびと遊べるようにしたい。今、地域の人や福保の仲間にも協力してもらっている。ありがたい。「仲間がいるってうれしいね」その通りだと思ふ。この問題は全国の院内保育所にも広がる。

10春闘に向けて

これからもがんばりたい。協力をお願いします。

・名東分会 瀬木

スト権の資料を読んだだけでは、今自分が直面している問題としてまで、考える事が出来なかった。今回の勉強会では、他の福祉職場の現状を情勢と結び付けて知ることで、「公私間格差是正制度」を守る大切さを学べた。スト権についても、遠い存在のように思っていたが、色々なやり方を考えたい。

「シリーズ・名物組合員」 発達センターあつた分会 三木 義幸 組合員

発達センターあつたは通園施設と一緒に児童デイサービスを行っています。発達センターあつた分会の名物組合員として、やぎ座、A型、人に対して繊細：の三木義幸分会員を紹介いたします。

日々、児童デイサービスあつたで学齢児とあそぶ三木くん。趣味はひとり旅。一人でリュックを背負い、桜や紅葉など、自分の知らない所へ足を運ぶのが楽しいとのこと。主に関西圏。好きな音楽は洋楽で、嫌いなものは干しぶどうとムカデ。干しぶどうの味がするミキブルーンは信じられないとのこと。でも食べられないことはない。ギターも弾けます。野球好きな三木くんの好きな漫画は「タッチ」「メジャー」「ドラゴンボール」。

三木くんの話はおそらく？自分でオチを考えてい



くんに手をつなぎ、一緒に活動へ向かう背中を見ると心の大きさを感じます。

あつた分会として分会員の人数が少なくて困っている時に声をかけると快く「いいですよ。」の返事。三木くんがいることで分会の雰囲気もホッとします。分会としてなかなか活動できませんが、この仲間を大切に自分たちの気持ちを土台にこれからの活動を考え、広げていきたいと思ひます。

発達センターあつた分会 植田てつし



スト権について学ぶことで、情勢や労働者としての権利を知ることができた。これからもみんなで勉強し合い、自分達に出来ること、やるべきことを見つけていきたい。

・障害協議会

「全国学習交流集会」の訴え

川又

今年の6月19・20日、名古屋で全国の障害種別の学習交流集会が開かれます。この機会に多くの保育職場の人、未組織の人にも参加してもらって、互いに学びあえるようにしていきたい。「なつわか」のようにやっていく。実行委員募集なので、是非参加して下さい。



「なつわか」のようにやっていく。実行委員募集なので、是非参加して下さい。

・組合講座 横井

昨年11月から、4回にわたって開催された「労働組合講座」。若い執行委員が中心になって、組合・賃金・貧困・体の使い方などについて、様々なテーマで取り組んできました。そして最後の講座のテーマは「仲間がいるってうれしいね」です。元



気が出るような講座にしたいと思っています。中央書記長の清水さんに来ていただきます。参加をお願いします。

・執行委員会 石脇、山田

石脇：12月26・27日で行われた執行委員会合宿で、会議以外での交流ができてよかった。組合員一人ひとりの声によって、春闘方針（案）が出来ていることが分かった。不安や疑問を素直に出すことができ、それをまた持ち帰ることができた。



東本

山田：グループ討議で、分かりやすい話が出てきた。これから学んでいきたい。



保

・組織拡大グリフェス 寺坂

春の組織拡大の取り組みである「グリフェス」今年は5月8日（土）に開催されます。実行委員会です。自分達の思いを出し合って、作っていく。例年マジックショーやゲームをしている。劇など何でも意見をあげてほしい。各分会実行委員会も出してほしい、仲間をふやせるように取り組んでいきたいので、ご協力をお願いします。



今年2010年5月NYで行われるNPT再検討会議に福保労東海地本の代表団として、参加することになりました。みよし分会の成田智美と新瑞福祉会分会の西岡菜絵です。参加するにあたっての思いをお伝えしたいと思います。

**平和への願いを
世界に訴えたい!!**

福保労の代表団としてNPT再検討会議と平和活動に参加させていただけることになりました。みよし分会の成田智美です。「NPTって何だろう…」というところから始まったのですが、言葉も文化も違う世界各国の代表者に向けて、日本中の人々の

平和への願いを「署名」に込めて伝え、訴えていけるってすごい!と思ったのが参加したいと思っただききっかけです。

私はこの5年に一度の核廃絶の実現に近付けていけるチャンスに、核によって大きな被害を受けて悲惨な経験を経た日本の代表として、現在取り組んでいる核廃絶の署名を提出すること、日本全国民の平和への思い、願いを届けていくと共に、現地に核廃絶のアピール行動をしながら、「平和」のために私たちができることは何かを見つけていきたいです。

世界には未だに核兵器の保有を認めている国があります。この事実には驚き呆れてしましますが、核兵器を使うことや戦争をすることの恐ろしさを世界に発信し続けていかなければならないと思います。NPT再検討会議や平和活動に参加して感じたことや学んだこと、発見したことは様々な形でみんなに返していきたいながら、今後の平

和の運動に生かしていけるようにしたいです。(成田智美)

平和への願いを抱えてNYに行ってきます

**多くの人に支えられた
学んだことを返したい**

「平和が大切!!」
と思っただけでも、自分何ができるのか、どんなことをしたら良いのか、毎日の忙しさになかなか取り組めないのが現状でした。でも、NPTへの参加の話を聞いたとき『ぜひ、行ってみたい!!』という思いでいっぱいになりました。参加することで、平和を伝える行動のきっかけにしていきたいと思っています。

日本は、核兵器を落とされた唯一の被爆国であり、これからもそういう国を増やしてはいけなと思っています。そして、核兵器の問題や平和の大切さを自分自身もって学んでいきたいです。NPT再検討会議に向けた

代表団に参加するにあたって、たくさん勉強する機会や訴えに行く機会が増えました。いろんな団体に、訴えに行くと『がんばって』『取り組んだことを教えてね』など、たくさんの人に支えられているんだと改めて感じます。

NYでは、たくさんの方を吸収し学んで、伝えていけたら良いな思っています。

(西岡菜絵)

カンパ活動の取り組みの一環として缶バッジの販売をしています。1個二百円で売っています。他にも何か作ろうと計画中です。また、各分会にも訴えに行こうと思っているのでそのときはお願いします。一緒に平和について考えていきましょう。

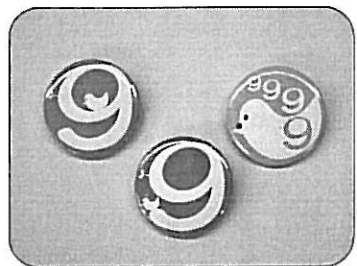
【編集後記】

暖かくなり、気分は何かうきうきしますが、同時に花粉も飛んできて、私は目や鼻がグズグズです。私には「生体防御反応」だそうですが、そんなに気合い入れなくても、という気もします。

このように人の身体には、自己防御反応や、恒常性(ホメオスタシス)なんかがありますが、政治の世界はどうなのでしょう? 「自浄作用」なんて言われますが、よく見ると「トカゲのしっぽ切り」や「知りませんでした」だったり、遅刻してきた大臣をみんなでパッシングしてありますが、国会ってそんなことを話し合う場所じゃないで

**「全国障害種別
学習交流集会」
東海地本で開催!**

6月19日(土)~20(日)
全国の仲間と一緒に
大いに学び、交流しましょう!



こんなにカワイイ缶バッジです

しよう? (もちろん遅刻はダメですよ) 国民の生活をよりよくするために、知恵を出し合う場所のほうです。

今年には参議院選挙がありますね。昨年は自公政権の歴史的敗退と民主党の躍進でした。期待された民主党。でも「ちよっと待てよ」というのが今の流れ。沖縄の基地問題、後期高齢者医療制度の改善見送りや、加速度的に進む新保育制度への準備などなど。これが国民の期待した政治なのでしょうか? 私は違うと思います。その思いも込めて、今度の参議院選挙で、ちゃんと投票に行き、注目してきたいと思えます。(ハム太郎)